



\*\*\*\* 《もくじ》 \*\*\*\*

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術  
● 移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー
- ☆アグリビジネス創出フェア2016 in 東海
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー
- ☆平成28年度野菜花き課題別研究会
- 「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆アグリビジネス創出フェア2016（東京ビッグサイト）
- ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージⅢ：  
● NexTEP-A タイプ（平成28年度・第2回）」 （JST）
- ☆「平成28年度セルロースナノファイバー性能評価モデル事業（早期社会実装  
● に向けた導入実証）委託業務」 （環境省）
- ☆「平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（追加公募）」  
● （総務省）
- ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム （総務省）
- ☆民間の競争的研究資金を33件掲載
- 5. 新技術情報
- ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介（2件）

\*\*\*\*\*

◆1◆ 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術  
移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー

農林水産・食品産業分野の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等について

理解を深める。企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成28年11月1日（火）13：30～17：00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室（1006・1007）  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38（Tel：052-571-6131）

【アクセス】JR名古屋駅桜通口から

ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

地図：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【演題と講師】

第1会場（1006）

○林産部会 13：30～14：30

「セルロース・ナノファイバーの先端的マテリアル利用」

岐阜大学応用生物科学部准教授 寺本好邦 氏

○水産部会 14：30～15：30

「アサリの天然採苗および垂下養殖技術の開発」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所

養殖システム研究センター研究員 長谷川夏樹 氏

第2会場（1007）

○食品部会 13：30～14：30

「宝は足元に、農産物・食品ブランドはこうやって作ってちょう」

木戸弁理士事務所弁理士 木戸基文 氏

○畜産部会 14：30～15：30

「空気清浄（脱臭・除菌）機能を有する光触媒装置の開発と実用化」

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター上席専門研究員 桑嶋孝幸 氏

○作物部会 15：40～16：50

「世界の飢餓を救え！～WISHプロジェクトと最近の研究～」

名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授 芦荻基行 氏

【開催要領】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi\\_kaisaiyouryou.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi_kaisaiyouryou.pdf)

【参加費】 無料

【参集範囲】NPO法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構 中央農業研究センター、  
（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

【技術相談会】15：50～16：50（第1会場 1006）

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】17：00～18：30（第2会場 1007） 会費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー  
「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成28年12月13日（火）13：30～17：00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）12階 1202会議室  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel：052-571-6131

【演題・講師】

13：30～14：30

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合 代表理事 永田晶彦 氏

14：30～15：30

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次 氏

～休憩～

15：40～16：40

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志 氏

【開催要領】 [http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi\\_kaisaiyouryou.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf)

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】農研機構 中央農業研究センター、(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】技術相談（1202会議室）：16:40～17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】1206会議室：17:00～18:30 参加費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」

―農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進―

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携を一層効果的に推進するため、地域の活性化につながる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など、新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】平成28年11月28日（月）10:00～17:00

11月29日（火）10:00～16:00

【開催場所】名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

名古屋市中種区不老町名古屋大学

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学 2番出口より徒歩2分

【内容】

(1) 開会式

(2) 基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏

(3) 成果発表 研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果

(4) 名古屋大学協力会の講演会

(5) 「知」の集積事業説明会

(6) パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）

(7) 相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会、農林水産省

【共催】名古屋大学協力会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター

【出展予定】研究機関・企業・団体等：60 ブース

【出展募集要領】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair\\_shuttennyouryou\\_tokai.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shuttennyouryou_tokai.pdf)

【出展申し込み】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair\\_shutten\\_moushikomi-1.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-1.pdf)

[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair\\_shutten\\_moushikomi-2.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-2.pdf)

【参集範囲】大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【名古屋大学協力会の講演会（2日目）の内容】

(1) 未病バイオマーカーの研究開発と生活習慣改善を目的とした郵送検査事業

株式会社ヘルスケアシステムズ 瀧本陽介 氏  
(2) 微量血液中からのモノクローナル抗体迅速合成法

名古屋大学大学院生命農学研究科 中野秀雄 氏

(3) 筋タンパク質を維持するための分岐鎖アミノ酸 (BCAA) の機能

名古屋大学大学院生命農学研究科 下村吉治 氏

(4) 農業・食品産業における近赤外分光法の利活用

名古屋大学大学院生命農学研究科 土川 覚 氏

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。  
会費 4000 円 (事前申し込み)

【問合せ先】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局 (大石、道村)

TEL & FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー  
～飲食 (RTE 向け) HACCP セミナー@名古屋～

飲食 (RTE) の提供を含む事業形態である、飲食店、スーパーのバックヤードでの調理、  
ケータリング、移動店舗、弁当・惣菜業などのすべてを対象といたします。

【開催日時】平成28年10月1日 (土) 13:15～17:00

参加者受付 13:00～13:15

【開催場所】ウインクあいち (愛知県産業労働センター) 1105号室

アクセス: <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【開催概要】 <http://qpfs.jp/194>

【参加費】3000円

【内容】

13:15-14:00 飲食 HACCP の国際的な潮流

食品品質プロフェッショナルズ 広田鉄磨 氏

14:00-14:45 これからの HACCP ; もうかる HACCP を実践しよう、移動販売への応用

食品品質プロフェッショナルズ 高瀬波佐人 氏

15:00-15:45 消費者からみた飲食 HACCP

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー

コンサルタント・相談員協会 戸部依子 氏

15:45-16:30 飲食における一般衛生管理

イカリ消毒株式会社 脇 洋平 氏

16:30-17:00 飲食 HACCP における問題点克服 広田鉄磨 氏

(プログラムは講師の都合等により変更をすることがあります)

【申込み】参加ご希望の方は、9月27日 (火) 17時までに下記宛てにお申込み下さい。

事務局 水野 [t-mizuno@gpfs.jp](mailto:t-mizuno@gpfs.jp) 宛に「名古屋開催 飲食 (RTE) 向け HACCP  
セミナー参加希望」としてお申し込み下さい。

申込み時には、(1)氏名 (2)所属 (3)当日連絡可能な携帯電話番号  
(4)メールアドレス (5)懇親会参加希望の有無(会費 5000 円を予定)をご記入く  
ださい。満席になり次第受付を締め切りますのでお早めにお申し込みください。

.....

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
野菜花き研究部門  
一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】平成28年10月25日(火) 12:30~17:40  
26日(水) 9:00~15:30

【開催場所】アスト津(〒514-0009 三重県津市羽所町700)

【開催案内(参加申込書を含む)】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目(10月25日)

1. ウリ科野菜品種紹介
2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一 氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株)

野原秀司 氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株)

山口一彦 氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

農研機構果樹茶業研究部門

東出忠桐 氏

○大規模農業生産者(法人)の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課

川島正俊 氏

○ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構果樹茶業研究部門

堀江秀樹 氏

○総合討論

2日目(10月26日)

全体会議

○果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構本部企画調整部

白川 隆 氏

○キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

埼玉県農業技術研究センター

塚澤和憲 氏

○ウリ類退緑黄化病の発生状況と対策

熊本県農業技術課農業革新支援センター

杉浦直幸 氏

○カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

北海道立総合研究機構上川農業試験場

新村昭憲 氏

○スイカ育種の現状と課題

(株)萩原農場生産研究所

嶋本育泰 氏

○カボチャ育種の現状と展望

農研機構北海道農業研究センター

杉山慶太 氏

○黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望  
農研機構野菜花き研究部門 杉山充啓 氏

○ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望  
農研機構野菜花き研究部門 川頭洋一 氏

○総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担当者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域  
上級研究員 川頭洋一

電話：050-3533-4610 ファックス：059-268-1339

E-mail : ykawazu@affrc.go.jp

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア 2016 (東京ビッグサイト)

「アグリビジネス創出フェア 2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】 平成28年12月14日(水)～12月16日(金)

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】 東京ビッグサイト 西4ホール (東京都江東区有明3-11-1)

【アグリビジネス創出フェア 2016 ホームページ】 <http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】 無料

【主催】 農林水産省

【出展者募集】 出展料無料(但し、小間装飾に必要な経費(出展者名ボード作成費、電気使用量等の実費は負担))

出展のご案内 <http://agribiz-fair.jp/teaser/pdf/guidelines.pdf>

【プレゼンテーション企画への参加】 出展申込みの際にご記入下さい。

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>



○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージⅢ：

NexTEP-A タイプ（平成28年度・第2回）」（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年7月29日～11月30日

☆「平成28年度セルロースナノファイバー性能評価モデル事業（早期社会実装に向けた導入実証）委託業務」（環境省）

[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz\\_local/28\\_a37/index.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/28_a37/index.html)

分野等：

1. 社会実装に向けた CNF 軽量材料の開発及び評価・検証
2. 自動車分野における CNF 軽量部品の導入実証及び性能評価・検証

公募期間：平成28年8月18日～9月21日

☆「平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（追加公募）」（総務省）

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000178.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000178.html)

分野等：若手 ICT 研究者等育成型研究開発

公募期間：平成28年9月12日～10月21日

☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000167.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html)

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術



(6) レジリエント向上ICTサービス技術

(7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....  
民間等研究資金

☆公益財団法人総合健康推進財団：「平成28年度第33回一般研究奨励助成」

<http://s-kenko.org/pdf1.php>

分野等：

1. 栄養と健康、2. 老化と健康、3. 保健対策と健康、4. 衣食住と健康、5. 代替医療と健康、6. 生活環境と健康、7. 福祉と健康、8. 産業衛生と健康

公募期間：平成28年7月1日～9月15日

.....  
☆一般財団法人鷹野学術振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.takano-zaidan.com/>

分野等：電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉機器関連、環境・エネルギー関連、材料工学、農学（機能的食品等）

公募期間：平成28年8月1日～9月15日

.....  
☆公益財団法人ノバルティス科学振興財団：

「平成28年度（2016年度）第30回ノバルティス研究奨励金」

<http://japanfoundation.novartis.org/ja/programs/index03.html>

分野等：生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域における創造的な研究

公募締切日：平成28年9月16日

.....  
☆公益財団法人高橋産業経済研究財団：「平成29年度研究助成」

<http://takahashi-f.or.jp/entry/index.shtml>

分野等：1. 災害対策分野、2. 環境問題分野、3. 資源分野、4. 医学・医療分野、5. 地域社会対策分野、6. 国際交流・人材育成分野、7. 科学技術開発分野

公募期間：平成28年7月21日～9月16日

.....  
☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

☆公益財団法人松籟科学技術振興財団：「研究助成事業」

<http://www.shorai-foundation.or.jp/subsidy/index.html>

分野等：

1. 植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究
2. エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究
3. 持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究

公募期間：平成28年7月21日～9月30日

☆公益財団法人日本ワックスマン財団：「平成28年度助成金」

[http://www.waksman.or.jp/wk\\_offer/p\\_offering.html](http://www.waksman.or.jp/wk_offer/p_offering.html)

分野等：微生物学および医学に関する学術研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

☆公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団：「第28回（平成28年度）研究助成」

[https://www.katoken.or.jp/applications/3\\_1ken\\_zyo.html](https://www.katoken.or.jp/applications/3_1ken_zyo.html)

分野等：

1. メディカルサイエンス分野
2. バイオテクノロジー分野

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益社団法人日本アロマ環境協会：「2017年度 AEAJ 研究助成事業」

[http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research\\_grant/](http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research_grant/)

分野等：現在および将来にわたってアロマ環境（自然の香りある豊かな環境）の保全・創造およびアロマセラピー（アロマ環境により得られる植物の香りや香り成分を豊かな生活のために利用すること）の健全な普及・発展に寄与することが明らかと思われる研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ライフサイエンス振興財団：「研究助成（平成28年度）」

<http://www.lifesci-found.com/original5.html>

分野等：ライフサイエンス 等

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：「平成28年度研究助成（一般助成）」

<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する萌芽的研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人花王芸術・科学財団：「平成29年度花王科学奨励賞」

<http://www.kao-foundation.or.jp/assist/science/research.html>

分野等：

1. 化学・物理学分野

表面分析、表面改質、コロイド、(超)微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係わる研究

2. 医学・生物学分野

生物個体が外界や自らのもつ内腔(腸管、気管など)に接する部位や、脈管系(血管、リンパ管など)を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

.....

☆一般財団法人ニッポンハム食の未来財団：「平成29年度研究助成」

<https://www.mir aizaidan.or.jp/information/2016.html#info20160712>

分野等：

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....

☆公益財団法人沖縄協会：「第38回(平成28年)沖縄研究奨励賞」

[http://www.okinawakyokai.jp/jigyousyourei/h28\\_bosyu.html](http://www.okinawakyokai.jp/jigyousyourei/h28_bosyu.html)

分野等：沖縄を対象とした将来性豊かな優れた研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016(H28)年度特定研究助成」

<http://www.yazaki-found.jp/applications/applications-3.html>

分野等：

領域 a. 生物の機能や構造を情報伝達、自己修復、環境適応、材料創成などの新機能創生に活用して従来にない人工物を実現する研究

領域 b. 扱いにくい熱を変換、輸送、貯蔵して有効に活用する技術

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

.....

☆公益財団法人前川報恩会：「平成28年度学術研究助成」

[http://www.mayekawa.org/grant/scientific\\_research/scientific\\_youkou\\_h28.html](http://www.mayekawa.org/grant/scientific_research/scientific_youkou_h28.html)

分野等：環境配慮型のエネルギー利用・開発又は食料生産・流通の改善に資する研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

☆公益財団法人東レ科学振興会：「平成28年度（第57回）東レ科学技術研究助成」

[http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf\\_004.html](http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf_004.html)

分野等：国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45才以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

公募締切日：平成28年10月7日

☆公益財団法人日本科学協会：「平成29年度笹川科学研究助成（学術研究部門）」

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

分野等：一般科学研究、海洋・船舶科学研究

公募期間：平成28年10月1日～14日

☆公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団：「平成28年度学術研究助成」

<http://www.ijima-kinenzaidan.or.jp/collection/collection.html>

分野等：米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に関して次の1～3に掲げる分野に係る食品科学等の研究。

1. 生産・加工・流通に関する基礎的研究
2. 製造技術及び品質保持技術の開発に関する研究
3. 安全・衛生、栄養・機能等に関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月20日

☆公益財団法人新技術開発財団：「第98回（平成28年度第2次）新技術開発助成」

[http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD\\_top\\_now\\_newtech](http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD_top_now_newtech)

分野等：基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的とした開発試作

公募期間：平成28年10月1日～10月20日

☆公益財団法人食生活研究会：「平成29年度研究助成」

<http://www.z-ssk.org/about/guideline.html>

分野等：

1. 自然科学系：穀物科学、食品加工、食品安全、食品機能、栄養学、その他の生命科学等に関する研究
2. 人文科学系：食料・農業政策、法制度、市場動向・消費動向、消費者とのコミュニケーション等に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

☆うま味研究会：「うま味研究助成第23回募集」

<http://www.srut.org/index2.asp>

分野等：下記2つの条件を備えた研究

1. 研究テーマが「うま味」「食」「おいしさ」に関するもの。
2. 研究の視点、方法が独創的なものであり、その成果が「うま味の本質」、「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人八洲環境技術振興財団：「研究開発・調査助成」

[http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise\\_application.php](http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise_application.php)

分野等：

1. 再生可能エネルギー源等に関連する技術開発
2. クリーン燃料
3. エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料、デバイス
5. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術
6. 環境技術マネジメントの基礎研究

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人本庄国際奨学財団：「2017年度 食と健康プログラム研究助成金」

<http://hisf.or.jp/researcher/index.html>

分野等：

1. 人の健康維持に対する、さまざまな食品および食品成分の有効性を明らかにするための、ヒトを対象とした研究（疫学研究、介入研究など）。
2. 食品成分の新しい機能性および作用機序を明らかにしようとする研究。

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人園芸振興松島財団：「平成28年度第43回研究助成」

<http://www.matsushima-foundation.or.jp/josei/index.html>

分野等：青果物（花きを除く）の生産、流通および消費に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人野田産業科学研究所：「野田産研研究助成（2017年度）」

<http://www.nisr.or.jp/jyosei/SANKENjoseiyoukou.htm>

分野等：主として発酵化学を基盤とする産業に寄与することを目的とする応用生命科学的研究。

公募期間：平成28年10月1日～31日

.....

☆一般財団法人国土技術研究センター：「平成28年度（第18回）研究開発助成」

<http://www.jice.or.jp/review/assistances>

分野等：

1. 安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの（地誌等に残る地域特有の自然災害の伝承や記録、国土強靱化への多様な手法、総合化へのシステム展開など、防災、減災を向上するための研究を含む）。
2. 人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。
3. 心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人野口研究所：「野口遵研究助成金（2016年度）」

<http://www.noguchi.or.jp/subsidy.php?00001>

分野等：

1. ライフサイエンスの進展に資する物質やデバイスに関する研究
2. エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新プロセスや新材料に関する研究
3. 豊かな生活に寄与する新材料やデバイスに関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....

☆一般財団法人内藤泰春科学技術振興財団：「調査・研究開発助成」

<http://www.naito-zaidan.or.jp/boshu/Jyosei/Kenkyu/kenkyuouboyokou.html>

分野等：独創的な科学技術の研究開発で、地域の産業又は中小規模の企業の発展に寄与しうるもの。

公募期間：平成28年8月1日～11月1日

.....

☆公益財団法人鹿島学術振興財団：「2016年度研究助成」

<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>

分野等：

1. 都市・居住環境の整備
2. 国土・資源の有効利用
3. 文化的遺産・自然環境の保全

公募期間：平成28年7月1日～11月10日

.....

☆公益財団法人長瀬科学技術振興財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.nagase-f.or.jp/grant-2/>

分野等：有機化学及び生化学、並びに関連分野における研究

公募期間：平成28年9月11日～11月14日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

[http://www.f-showa.or.jp/2\\_jigyo/2\\_biology.html](http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html)

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017年度研究援助」

[http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu\\_kenkyu.html](http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html)

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

#### ◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

- ・ 水稲関係：イネ種子温湯消毒における高温耐性を向上させる技術の確立

本研究は、農食研究推進事業（発展融合ステージ）で国立大学法人東京農工大学が研究代表機関として実施されたものです。イネ種子の温湯消毒法は農薬を使わず、薬剤耐性菌にも防除効果がある消毒法ですが、高温耐性の弱い品種の種子や、ばか苗病には十分な防除効果が得られないことがあります。そこで、温湯処理の前に、種子の水分含量を低下させる事前乾燥処理をしておくこと、種子の高温耐性が高まり、慣行法よりも5℃高い65℃で10分間処理が可能となり、消毒効果が上がり、慣行法と同等の収量が確保できることが分かりました。

農林水産省 HP：<https://www.s.affrc.go.jp/docs/gaiyou/pdf/25048b.pdf>

農林水産省発行の冊子「研究紹介2016」に収録されています。

金勝ら(2013)：日本作物学紀要 82(4)：397-401.

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcs/82/4/82\\_397/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcs/82/4/82_397/_pdf)

- ・ 食品関係：鶏肉に含まれる高機能ジペプチドを用いた中高齢者の心身健康維持機能

本研究は、農食研究推進事業（シーズ創出ステージ）で国立大学法人東京大学を研究代表機関として実施されたものです。鶏肉などの肉類食品に含まれるイミダゾールジペプチド食品について、中高齢者に一定期間、鶏肉より調整したイミダゾールジペプチド食品を摂食してもらい比較するヒト試験を実施した結果、この食品に脳老化予防作用、高齢者の記憶機能を改善する作用、脳組織の老化抑制作用、抗炎症作用があることが分かりました。

農林水産省 HP：[http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/pdf/141210\\_2-11.pdf](http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/pdf/141210_2-11.pdf)

農林水産省発行の冊子「研究紹介2016」に収録されています。

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター HP：

[http://www.ncnp.go.jp/news/news\\_141218.html](http://www.ncnp.go.jp/news/news_141218.html)

編集後記



リオデジャネイロ・オリンピックが8月21日に閉会し、パラリンピックが9月7日に始まりました。今回のオリンピックは、日本のメダル獲得数が過去最多となったことだけでなく、陸上400mリレーでの銀メダル獲得、卓球での頑張り、女子レスリングと柔道でのメダルラッシュ、体操男子の団体・個人総合での優勝、水泳、テニスでの頑張り等々に、国民は一喜一憂し、声援を送り、感動をもらいました。スポーツは、アスリートが全身全霊を傾けて競技するところに、心打たれ、美を感じます。そういう意味では、メダルのあるなしには関係ないのかもしれませんが。

ところで、最近読んだ本に、堀切俊雄著「トヨタの原価」かんき出版（2016年8月発行）があります。先月、酒井崇男著「トヨタの強さの秘密」を紹介しましたので、またトヨタかと思われるかもしれませんが、世界中の企業が研究するトヨタの経営を、別の著者の目を通して見ることで、理解が一層増すと思われます。著者は、トヨタ自動車（株）で生産ラインの工程設計、設備計画、TPS（Toyota Production System：トヨタ生産方式）等に従事し、「トヨタの原価」の意味を知り尽くしています。他社の競合車との関係で価格を上げられない状況下で、利益の源泉は原価の低減しかありません。しかも、原価は量産開始以前の「原価企画（会議）」の段階で決まり、量産に入ってから原価低減の余地は僅かしかないということですが、このことは、「トヨタの強さの秘密」の著者の酒井氏が述べている内容と一致しています。一方、本書では、「原価」を徹底的に調査・分析した結果を従業員に公開し、従業員が原価を常に意識して働き、その低減について常に考える習慣をつけていること、部品メーカーの原価も正確に把握して、適切な利益を乗せて、共存共栄を図っていること、また、専門部門間の意思疎通を図りやすく、かつ迅速にするために、大部屋方式（各専門分野の企画設計関係者が大部屋に居て日常的にスムーズにコミュニケーションを図る仕組みとする）など、「原価」を意識して無駄を省く仕組み作りがなされていることが分かります。トヨタの強み、利益の源泉については、上記の2冊の本で概略理解できますが、筆者が追加するとすれば、ハイブリッド車や燃料電池車を世界に先駆けて実用化した技術開発力も重要と考えます。本書を読むことにより、トヨタの利益の出し方とその仕組みについて述べられていて一層理解が増すものと思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail: bio-tech.co\*go8.enjoy.ne.jp \*を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>